



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

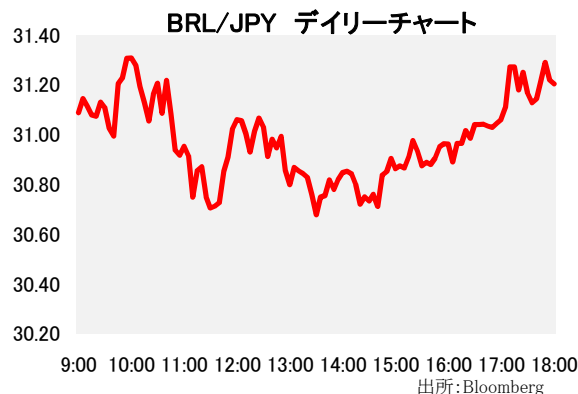
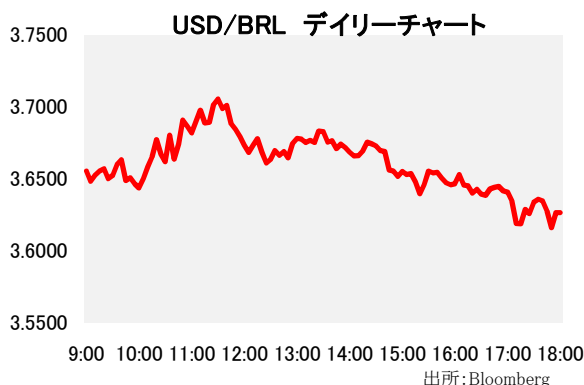
1. マーケット・レート

			3月4日	3月7日	3月8日	3月9日	3月10日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7520	3.7850	3.7540	3.6890	3.6260	-0.0630
	BRL/JPY	Spot	30.35	29.97	30.01	30.72	31.20	+0.48
	EUR/USD	Spot	1.1003	1.1013	1.1006	1.1005	1.1179	+0.0174
	USD/JPY	Spot	113.93	113.41	112.63	113.41	113.15	-0.26
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.115	14.120	14.103	14.039	13.973	-0.066
	Future	1Year(p.a.)	14.064	14.140	14.060	13.889	13.815	-0.074
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.062	3.566	3.412	3.309	3.555	+0.246
	USD	1Year(p.a.)	3.313	3.642	3.598	3.657	3.824	+0.167
株式	Bovespa指数		49,085	49,246	49,102	48,665	49,571	906
CDS	CDS Brazil 5y		406.64	411.00	410.99	405.50	394.48	-11.03
商品	CRB指数		168.549	171.703	169.469	172.219	171.887	-0.33

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
IGP-M Inflation 1st Preview	0.65%	0.43%	1.23%
小売売上高(前年比)	-8.50%	-10.30%	-7.20%
広義小売売上高(前年比)	-13.60%	-13.30%	-11.00%
(米)新規失業保険申請件数	275k	259k	277k
(米)月次財政収支	-\$196.3b	-\$192.6b	-\$192.4b



3. 要人コメント

オリベイラPMDB党 党首	ルセフ大統領の辞任を押し進める。
------------------	------------------

4. トピックス

- 本日のリアルは3.6680で寄り付いた。ECBから予想外の政策金利引き下げと量的緩和の拡大が発表すると、リスクオンムードとなり3.63台まで上昇した。しかし、ドラギECB総裁が一段の利下げは必要だとは考えていないと発言すると、ドルが反発しリアルは下げに転じた。ボベスパ指数の反落、最大与党であるPMDBが党大会で現行政権の解体を決議しない可能性があるとの報道、中銀がドル売り介入ポジションを全額ロールしない可能性があるとの思惑を背景にリアルは反落。安値となる3.7080を現示した。その後、伯財務省が2015年9月の格下げ以降で初めてドル建て10年債を売り出すと発表するとリアルは反発。PMDB党首が大統領辞任をプッシュするとのコメントを受けて、政権交代への期待感からその後のリアルはジリ高の展開となった。引け間際に高値となる3.61を現示し、結局3.6260でクローズ。
- COPOM議事録では引き続き原油安や中国経済減速への懸念が示された。インフレ見直しに関してはいくつかの項目で価格の下落が予想され2016年のインフレ率がターゲットの範囲内にさせることが可能との認識が示された。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。